

介護老人保健施設

# ほのぼの苑

だより

発行所  
〒018-1401  
馬上市昭和久保字街道下92-1

医療法人 正和会  
介護老人保健施設  
ほのぼの苑

TEL (018) 877-7115  
FAX (018) 877-7481

ホームページ  
<http://www.seiwakai-akita-no1.or.jp>

編集責任者 加藤稔樹  
発行責任者 小玉敏央



## 秋田県赤十字芸能奉仕団

昔懐かしい唄声が聴こえてくると、自然に唄を口ずさむ入苑者の方々。

曲が終わるたびに拍手が鳴り響き、誰でも、聞き覚えのある曲が流れると、その当手を思い出します。入苑者の方の心も、きっと何年も遡り、走馬燈のように記憶が流れたと思います。ステージに上がった唄い手や踊り手の方々は、私たちにその唄と踊りを披露し始めました。曲の合間に歌い手の方が、「皆さん、お若い方ばかりで、私と何ら変わらないような感じですよ。顔色が良くて、健康的でいいですね」と話されると、会場が一気に和んで、入苑者の方々の顔に笑みが浮かびました。「次は民謡日本一が唄います。曲は、秋田長持ち唄です。」と紹介された祝い唄で、知られているその唄は、マイクなしでも大丈夫なほど、音量・かつぶく共に堂々たるもので、見る者の目を喜ばせてくれました。

最後は、ドンパン節で締めくくり、ステージ上では、奉仕団の方々が全員並び、手拍子に合わせての大合唱となりました。一時間半は、あつという間に過ぎ、九月四日、入苑者の方々の心の中に、また一つ思い出が刻まれた日となりました。

秋田県赤十字芸能奉仕団の皆さんは、県内各地、遠くは県外まで、福祉施設など、色々な場所へ慰問して、奉仕活動を続けられております。素晴らしい唄声をたくさんの方に、届けてくださるようお願いいたします。またいつか、ほのぼの苑にいらしてください。



### 記念植樹会

皆さんは誕生日に何が欲しいですか？また、なにをして欲しいですか？

九月誕生会を行うにあたり、担当者と話し合いをしました。その場では、初め何処かに出掛けよう、何を買おうという内容でした。私たちが、入苑者の方に対して出来る事は改めて、幅広いと感じました。様々な意見が飛び交う中、「生きた証」をキーワードに、「記念樹」を植えては、との意見が出ました。「それだー」と私は心の中で叫びました。私は正直、生きた証で想い描いた事と言えば、「家族」しか思い浮かべませんでした。しかし、「記念樹を植え、ご家族が来苑された際、一緒に散歩がてら外へ行き、自分の樹があったら、とても素敵な事だな、きつと喜んでもらえると思います。そして皆さんの賛同を得て、誕生会ではなく、「植樹会」を開催する事に決定しました。

九月二十九日(木)その日は快晴で、気持ち良く外に出られる最高の日でした。強い日差しに気を付けながら、誕生会以外の入苑者、また誕生者のご家族もいらして頂き、皆さんで記念撮影をして開催されました。植えて頂く樹は「柿」と「栗」のどちらかを事前に、誕生者に聞き決めたものでした。当初は、本人の希望する樹と考えていたのですが、皆さん、樹の名前がなかなか出てこなかった事もあり、担当者がホームセンター、花屋、造園などに下調べに行った際、とても状態の良い苗木二種類を選ばさせて頂きました。場所は、まめたすか東棟と南棟の間の中庭です。皆さん、スコップを手に持ち、進んで行きまし



た。職員も苗木を運んだり、土をかけたたり、お手伝いさせて頂いたのですが、やはり経験された方してみると役不足なのか「そうだねー」、「先に水かけるもんだ」、「足でしっかり踏んで」など活発な意見を頂戴しましました。そんな中、苗木を見て、「立派だねが」と喜ぶ方もおり、ほっと胸を撫で下ろしました。そして、最後に自分の樹という証に、名前と誕生日を書いた立て札を立て、完成。皆さん久しぶりに外に出たという事もあつてか、疲れも忘れ、とても満悦の様子。  
この一日を振り返り、植樹会を通じて、入苑者、通苑者そしてご家族の皆様に参加職員が出来る事の幅広さや、喜びを感じる事が出来ました。誕生者の皆様、ご家族の皆様、本当におめでとうございませす。

### 秋田県ジャンボカボチャ大会

まずは、前年の結果から、出場個数四十五中、重さは38.8kgで、三十二位という初出場にしては「まあまあ」という結果に終わりました。

そして今回、そんな妥協は許されるはずありません。気合いを入れて育て、なんと今回は、二個も出品いたしました。手塩にかけて育てた、我がほのぼの苑ジャンボカボチャ。果たして結果はいかに、乞うご期待！

・・・ということであつたという間に大会当日。天候は、私たちの気合いとは裏腹に、今にも雨が降りそうな嫌な天気。そして嫌な予感。「いやいや、そんな弱気はどうする！目指せ、全国大会！」と自分に言い聞かせて、いざ出陣。

当日は、ほのぼの苑の入苑者とデイケアの通苑者の方々に、大会の様子を見に行きました。バスの中の皆さんの明るい笑顔に、どんなに勇気づけられたことでしょう。そんな楽しい雰囲気のまま、バスはいよいよ会場に着きました。

ありました！我がほのぼの苑ジャンボカボチャ！大きさは38.8kgと37.6kg、前回のものとはやや劣るものの、色と形はもう神々しいほどの美しさで、入苑者、職員一同大喜び。出店の人からもらった飴や焼きそばを片手

に、はしゃぎながら、みんなでカボチャを囲み、記念撮影をしている、そんな私たちの目の前には、第一位のカボチャが王者の貫禄を醸し出しながら、ドーンとそびえ立っていました。大きさは、ほのぼの苑の約六倍。  
完敗でした・・・  
結局、順位は四十七位ともう一つは四十八位と振るわない結果に・・・。来年こそはほのぼの苑カボチャが一位にそびえ立てるように大きなものになりたいと思います。

### 第15回 ジャンボカボチャ秋田県大会



58個中 47位 28.2kg

58個中 48位 27.6kg



# 今月の小豆知識

「今月の小豆知識」とは、介護する上でアドバイス等を、豆知識よりさらに細かく、より味わい深い内容で、ご紹介するコーナーです。

## グループホーム まめだすか

について

グループホーム まめだすか

鈴木 学

皆様、まめだすか？

県外在住のご家族の方は、おそらく、「はて？」と思われたのではないでしょう。私も標準語圏に住んでいたため、方言は未だにフランス語と同様に、難しさを感じています。

「まめだすか？」とは秋田弁で「元気ですか？」という意味を指し、日常会話では「まめだあ？」というような具合で使われているようです。

ホーム名に、この方言が命名されたのは、当法人理事長の一声でした。グループホームは、親しみ馴染んだ環境が重要となるため、ホームの名前に使った慣れた言葉を使用していると、それだけで会話が弾んでいくきっかけとなり、とても素晴らしいと日々感じています。

\*「グループホーム？」

グループホームとは、少人数の認知症高齢者と職員が、共同で生活を作り上げる場所です。ここは施設のように、治療や専門のリハビリが行われる場所ではなく、また、大勢でのレクリエーションを行うようなこともありません。むしろ、何もしないという方がニュアンスとしては近いのですが、誤解されると大変ですので、言い換えると、自宅での生活に近い毎日を過ごせるよう、お手伝いをさせていただく家とご理解いただきたいと思います。

\*「まめだすか」の日々

私たちは皆さんのご家庭と同じように、スーパーに買物に行き、包丁を持って料理し、日中は洗濯や掃除をするという、当たり前前の暮らしを大事にしています。認知症により、オムツをちぎり食べてしまうような症状が出た方でも、夕食のお浸し用に食用菊と一緒にちぎり、「○○さんが作ってくれた料理」として、ちぎる行為に役割を見出します。

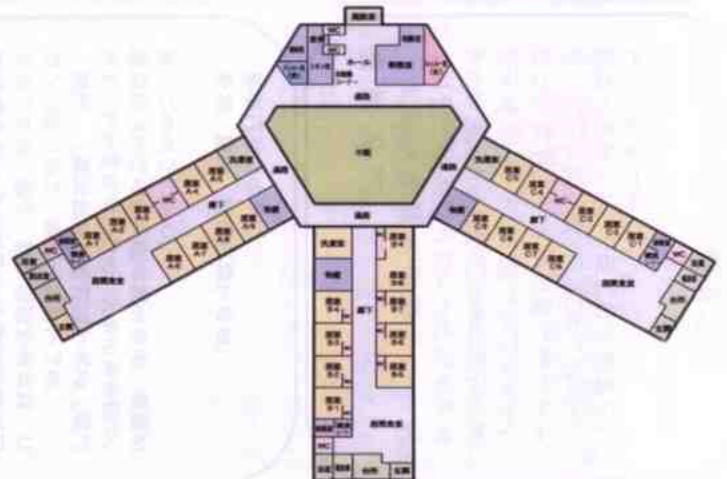
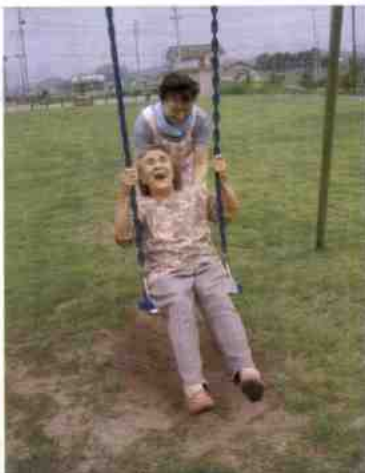
歩き続ける方は、一緒にほうきを持って歩くと掃除になります。ちよつとした逆転の発想により、その方の生活

に潤いができ、次第に穏やかな表情で過ごされるようになることも多くあります。「まめだすか」での4年間を振り返ると、認知症の方は症状により、その人の可能性が消されて見えてしまふことに気付かされます。昔取った杵柄を大事に捉えるようにすると、一変して穏やかな毎日を過ごすことができるようになることを利用者の方に毎日教えていただいています。

「まめだすか」は、「認知症」と診断された介護度1以上の方にご利用いただいております。

お問合せは、  
電話 〇一八八七七七一八

までお気軽にご連絡下さい。

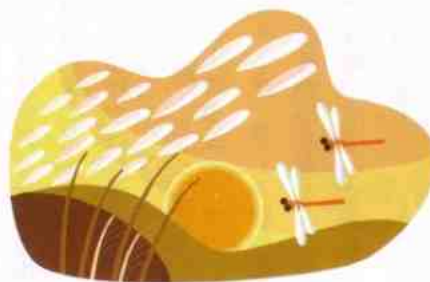


### 10 月の誕生会・行事のご案内

平成 17 年 10 月の誕生会は、お誕生日にご家族の皆様と一緒に  
お祝いさせて頂いたり、苑内での記念パレード等の個人誕生  
会を行います。個人誕生会の様子は、ベッド側の掲示板に掲示致  
しますので、是非ご覧下さい。

30日 15時から玄関ホールにて、お茶会を催します。誕生者  
の方へ抹茶をおもてなし致しますので、ご期待下さい。

10月行事担当職員一同



### ほのぼの掲示板

#### インフルエンザ予防接種のご案内

十一月中旬より、インフルエンザ  
予防接種の実施を予定しておりま  
す。希望されるご家族の方は、各  
担当職員までご連絡ください。

連絡先 入苑部門 石川 秀子  
通苑部門 細谷 一彦

#### 十月改正に伴う通知書及び

#### 認定書提出のお願い

左に示したような認定証が市町  
村役場から郵送されておりまし  
たら、お早めに当苑までご提出下さ  
い。よろしくお願ひ致します。



### 幸福

私は、小・中・高校と国語が苦手であっ  
た。親は、本を読んでもみればとよく言っ  
ていた。しかし、面白く感じなかったせい  
か、本とは無縁の生活を送り、毎度試験は散々  
たる結果であった。

看護学生の頃、ようやく自由な時間も作  
れたため、本を読むようになった。本と言  
っても「つかこうへい」や「玉木寛之」の  
楽しく、あっという間に読み終えてしま  
う本である。今でも私の書庫の片隅にきちん  
と並んでいる。私の書庫の大半は、昔で言  
えば頭がバカになるマンガ本で占められ  
ている。学生の頃からバイト代が入れば、  
マンガを買う習慣は変わることなく、毎週  
書店へ行っては、新刊がないか捜してい  
る。二千冊ほどのマンガが並んでいるが、  
背表紙を見ているだけでも楽しい気分が  
させられる。時々、暇な時間があれば、ゴ  
ロンと横になり、読みふけていた。  
最近、「福沢周平」の作品である「蝉し  
くれ」が上映されている。父から本を借り、  
現在読んでいるが、読み終えたら、映画を  
見に行きたいと思う。

今は、読書・芸術の秋である。  
存分に楽しみたい

### 編集後記

苑内での職員活動の一つに  
「Project 01」というものがあ  
ります。今回、その活動内容をほのぼの苑  
ホームページ上で公開していきます。  
近日、詳細ページを公開いたします  
が、在宅介護に役立つ情報になると、  
職員も頑張る、公開内容を整理中  
です。ご期待下さい。

(カ)